

各巻ごとの分売可

補巻37

★十五年戦争極秘資料集全30集の完結後、新たに発見された資料・文書を基に、補巻として刊行。未公表「極秘」文書を復刻し解説を付して刊行!

# 陸軍經理學校五十年史

全3冊

中野 良 解説

本体単価格 36,000円+税

一九四一(昭和16)年に刊行された本書は、軍人としての資質向上を目指した經理部将校の教育システムから、將校養成制度を具体的に検証することができる貴重資料である!

# 十五年戦争 極秘資料集

不二出版

## ○復刻の辞

陸軍經理學校は、經理部士官候補生を教育する唯一の機関として、その前身である陸軍軍吏學舎（一八八六・明治19年）を経て、一八九〇（明治23）年に設立された。

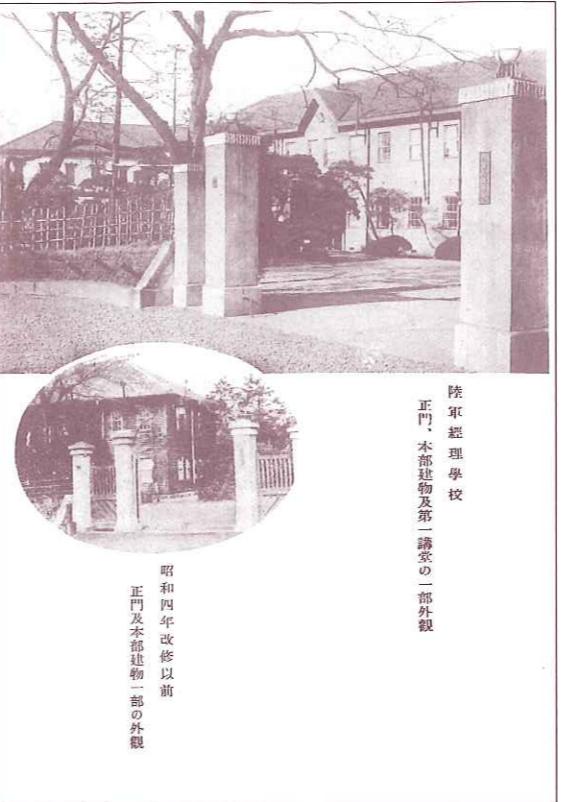
本書は、創立五十年を迎えるにあたって、その記念事業として、当時の退役陸軍主計大佐・西岡靜太郎を中心に編纂され、一九四一（昭和16）年に上下2巻で刊行された。

第一編の沿革前記に始まり、機関内での調査・研究、図書編纂等の業績や、卒業式講演集、年次別卒業者名簿など、多岐にわたる情報がまとめられている。

陸軍の中核としての經理部将校に必要とされる精神教育と識能教育を行う一方で、軍人としての資質向上を目指した教育システムから、經理將校養成制度を具体的に検証することのできる貴重資料である。

なお、復刻に際して、原本の上巻を2冊に分け、計3分冊にて刊行する。

——不二出版



## ○十五年戦争極秘資料集 補巻①～③

B5判・上製本・函入 (②⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳はA4判③⑤⑯⑰⑱⑳はB4判)

① 毒ガス戦教育関係資料 内藤裕史 編・解説 1,00,000円 ISBN4-8350-1031-0	⑪ 一反長音蔵・アヘン関係資料 倉橋正直 編・解説 8,000円 ISBN4-8350-1041-9	⑯ 大同保育隊報告 藤野 豊 編・解説 1,00,000円 ISBN4-8350-6233-3
② 毒ガス戦関係資料II 吉見義明・松野誠也 編・解説 1,00,000円 ISBN4-8350-1032-9	⑫ 東亜諸民族の死亡に関する衛生統計的調査 金子 俊 編・解説 1,00,000円 ISBN4-8350-1042-6	⑰ 終戦後の法令制定・改正・廃止経過一覧 茶園義男 編・解説 1,00,000円 ISBN4-8350-1431-6
③ 思想彙報II 荻野富士夫 編・解説 1,00,000円 ISBN4-8350-1033-7	⑯ 関東軍參謀部作成総動員関係調査資料 永島勝介・安富歩 編・解説 8,000円 ISBN4-8350-1043-4	⑱ 戰場心理の研究 全4冊 岡田靖雄 解説 1,00,000円 ISBN4-8350-1431-6
④ 戦時下国民栄養の現況調査報告書(昭和18年) 金子 俊 編・解説 1,00,000円 ISBN4-8350-1034-5	⑯ 陸軍軍医学校防疫研究報告 全6冊・別冊1 常石敬一 解説 全6冊 1,00,000円 ISBN4-8350-1375-3	⑲ 満洲事変口誌記録 全3冊 芳井研一 解説 全3冊 1,00,000円 ISBN978-4-8350-6249-6
⑤ 第二次上海事変における第九師団軍医部「陣中日誌」 野田勝久 編・解説 1,00,000円 ISBN4-8350-1035-3	⑯ 軍律法廷審判例集 北 博昭 編・解説 8,000円 ISBN4-8350-1044-2	⑳ 山東出兵時における第三師団特種研究記事 福島幸宏 編・解説 8,00,000円 ISBN4-8350-4750-8
⑥ 墓溝橋事件期支那駐屯憲兵隊 重松関係文書 北 博昭 編・解説 9,000円 ISBN4-8350-1036-1	㉑ 宣撫月報 全8冊・別冊1 山本武利 解説 全8冊 1,00,000円 ISBN4-8350-5645-0	㉒ 情報 全9冊・別冊1 三好 章 解説 全9冊 1,00,000円 ISBN978-4-8350-6256-3
⑦ 韓国併合始末 関係資料 海野福寿 編・解説 9,000円 ISBN4-8350-1037-X	㉑ 毒ガス戦教育関係資料II 内藤裕史 編・解説 8,000円 ISBN4-8350-1426-X	㉓ 資料集成 戰争と障害者(第1期) 全7冊 松村高夫・松野誠也 編・解説 8,00,000円 ISBN4-8350-5655-6
⑧ 軍隊警察の対立と憲兵司令部 重松関係文書II 北 博昭 編・解説 9,000円 ISBN4-8350-1038-8	㉔ 五・一五事件期憲兵司令部関係文書 北 博昭 編・解説 8,000円 ISBN4-8350-5655-8	㉔ 関東軍化學部・毒ガス戦教育演習関係資料 北 博昭 編・解説 8,000円 ISBN4-8350-5655-8
⑨ 南方地域現地自活教本 野田勝久 編・解説 9,000円 ISBN4-8350-1039-6	㉕ 陸軍省「調査彙報」 全5冊・別冊1 清水 寛 編 全5冊 1,00,000円 ISBN978-4-8350-5758-3	㉕ 南滿州鐵道株式会社 帝國議會説明資料・別冊 芳井研一 解説 1,00,000円 ISBN978-4-8350-6267-9
⑩ 戦後の皇軍 重松憲兵少佐綴 北 博昭 編・解説 9,000円 ISBN4-8350-1040-X	㉖ 陸軍經理学校五十年史 全3冊 中野 良 解説 全3冊 1,00,000円 ISBN978-4-8350-8829-9	㉖ 以後新資料発見次第、逐次刊行予定
㉗ 陸軍省「調査彙報」 全5冊・別冊1 松野誠也 編・解説 全5冊 1,00,000円 ISBN978-4-8350-5834-4	㉘ 外邦測量沿革史 草稿 全4冊・別冊1 小林 茂 解説 全4冊 1,00,000円 ISBN978-4-8350-6237-2	

## ○推薦の辞

陸軍經理部の実態解明に不可欠の資料

——吉田 裕 (一橋大学大学院教授)

陸軍の經理部将校を養成する陸軍經理學校の存在は、従来、日本近代史研究の分野では、それほど注目されてこなかったといえるだろう。軍部による政治介入や開戦の推進力となつたのが幕僚将校であつたため、研究者の関心が、陸軍士官学校・陸軍大學校に向けられがちであつたからである。しかし、最近は、そうした状況がかなり変わりつつある。一つには占領地經濟や戰爭經濟を運用する上で、經理部将校が果たした大きな役割がしだいに自觉されるようになつてきたからである。そして、もう一つは、国内においても国外においても、兵士のいわば「衣食住」を確保する任務を担う經理部将校が、軍隊と民衆や社會との間をつなぐ接点を構成していたことを研究者が認識するようになつてきたからである。すなわち、軍隊や戰争に社会史・民衆史の側からアプローチする際に、經理部将校は要の位置にいるのである。

解説者の中野良氏は、軍隊と地域社会の関係性を解明した一連の研究によって、經理部将校の持つ重要性を浮き彫りにしてきた研究者である。氏を解説者として本書が刊行されることを、何よりも喜びたい。

# 陸軍經理學校五十年史

## 第一編 沿革前記

### 其の一 緒言

其の二 建軍期に於ける經理制度及其の勤務等に關する回顧

其の三 建軍期に於ける經理部將校の補充と其の教育に關する回顧

#### (一) 經理部將校の補充

##### 六四 操守の徳に就て

六五 支那事變に於ける皇國陸軍の糧秣補給並に現地自活の概況に就て

六六 武漢攻略戦に於ける衣糧其他諸品の補給に就て

六七 軍用絨の原料資源に就て

#### 其の一 緒説

#### 其の二 陸軍軍吏學舍

至明治

#### 其の三 陸軍經理學校

自明治

#### 第一節 第一期

自明治二三年一月一日

#### 第二節 第二期

自明治三年五月一日

#### 第三節 第三期

自明治三年六月一日

#### 第四節 第四期

自昭和一〇年八月一日

#### 第五節 第五期

自昭和一〇年九月一日

#### 第六節 第六期

自昭和一〇年十月一日

#### 第七節 第七期

自昭和一〇年十一月一日

#### 第八節 第八期

自昭和一〇年十二月一日

#### 第九節 第九期

自昭和一〇年一月一日

#### 第十節 第十期

自昭和一〇年二月一日

#### 第十一節 第十一期

自昭和一〇年三月一日

#### 第十二節 第十二期

自昭和一〇年四月一日

#### 第十三節 第十三期

自昭和一〇年五月一日

#### 第十四節 第十四期

自昭和一〇年六月一日

#### 第十五節 第十五期

自昭和一〇年七月一日

#### 第十六節 第十六期

自昭和一〇年八月一日

#### 第十七節 第十七期

自昭和一〇年九月一日

#### 第十八節 第十八期

自昭和一〇年十月一日

#### 第十九節 第十九期

自昭和一〇年十一月一日

#### 第二十節 第二十期

自昭和一〇年十二月一日

#### 第二十一節 第二十一期

自昭和一〇年一月一日

#### 第二十二節 第二十二期

自昭和一〇年二月一日

#### 第二十三節 第二十三期

自昭和一〇年三月一日

#### 第二十四節 第二十四期

自昭和一〇年四月一日

#### 第二十五節 第二十五期

自昭和一〇年五月一日

#### 第二十六節 第二十六期

自昭和一〇年六月一日

#### 第二十七節 第二十七期

自昭和一〇年七月一日

#### 第二十八節 第二十八期

自昭和一〇年八月一日

#### 第二十九節 第二十九期

自昭和一〇年九月一日

#### 第三十節 第三十期

自昭和一〇年十月一日

#### 第三十一節 第三十期

自昭和一〇年十一月一日

#### 第三十二節 第三十二期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第三十三節 第三十三期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第三十四節 第三十四期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第三十五節 第三十五期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第三十六節 第三十六期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第三十七節 第三十七期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第三十八節 第三十八期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第三十九節 第三十九期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第四十節 第四十期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第四十一節 第四十期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第四十二節 第四十二期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第四十三節 第四十三期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第四十四節 第四十四期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第四十五節 第四十五期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第四十六節 第四十六期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第四十七節 第四十七期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第四十八節 第四十八期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第四十九節 第四十九期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第五十節 第五十期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第五十一節 第五十期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第五十二節 第五十二期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第五十三節 第五十三期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第五十四節 第五十四期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第五十五節 第五十五期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第五十六節 第五十六期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第五十七節 第五十七期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第五十八節 第五十八期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第五十九節 第五十九期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第六十節 第六十期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第六十一節 第六十期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第六十二節 第六十二期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第六十三節 第六十三期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第六十四節 第六十四期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第六十五節 第六十五期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第六十六節 第六十六期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第六十七節 第六十七期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第六十八節 第六十八期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第六十九節 第六十九期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第七十節 第七十期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第七十一節 第七十期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第七十二節 第七十二期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第七十三節 第七十三期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第七十四節 第七十四期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第七十五節 第七十五期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第七十六節 第七十六期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第七十七節 第七十七期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第七十八節 第七十八期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第七十九節 第七十九期

自昭和一〇年一二月一日

#### 第八十節 第八十期

自昭和一〇年一二月一日

「陸軍經理學校五十年史」全3冊  
概要

原本——一九四一(昭和16)年十一月刊、上下巻の二冊

九四一（昭和10）年十一月刊 上下巻の一冊  
（復刻版では上巻を2冊に分け、計3分冊で刊行）

第1冊 || 1~3編を収録

第2冊 4・5・7・9編を収録

第三冊 6・8・10編を収録

上卷 | 第1編 || 沿革前記

第2編 || 沿革總說

第3編 二 沿革

原本の  
第4編  
沿革と其の業

第7編 || 歷代軍吏學舍長・經理學校長略歷  
第9編 || 陸軍經理學校創立記念事業及記念祝典

第6編 卒業式講演集

解説 中野 良(東北大学大学院文学研究科 専門研究員)

推薦——吉田 裕（一橋大学大学院教授）

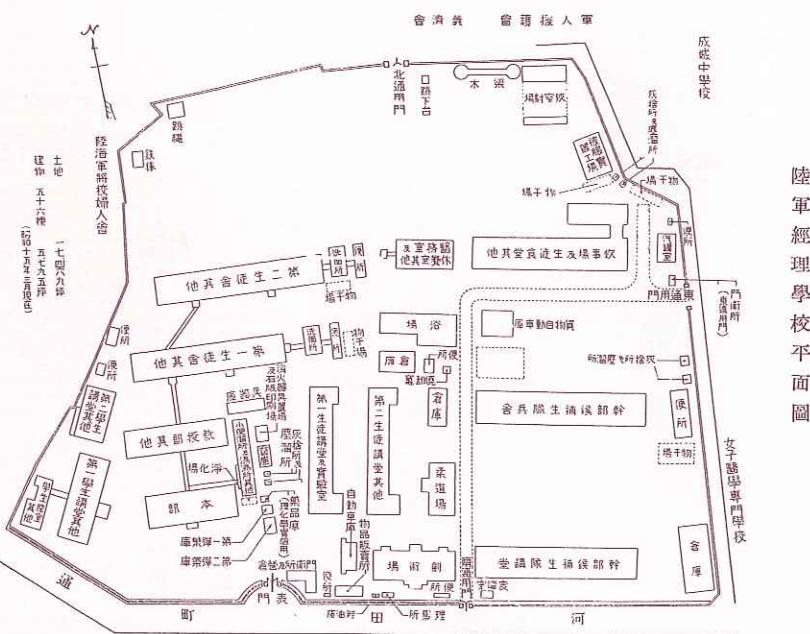
概要——B5判・上製本・函入り・総1、380ページ

刊行——2011年1月

価格——本体単価6,000円+税 ISBN978-4-8350-6829-9

ISBN978-4-8350-6829-9

○本文口絵より



**表示価格は全て税別**

振 F T 丁  
 替 A E 113  
 替 X L 0023  
 東京都文京区向丘 一一一  
 ○三一三八 一二一四四三三  
 ○三一三八 一二一四六四  
 ○〇一六〇一九四〇八四

不  
一  
出  
版